受 験 番 号					

清和大学入学試験（一般選抜Ⅰ期）問題 注 意 事 項

本問題は以下の教科・科目で構成されている。

教 科 ・ 科 目	試 験 時 間
<p>「国語」・「英語」・「公共」・「小論文」</p> <p>※上記4科目から2科目選択して 解答すること。</p> <p>※3科目以上解答した場合には、 高得点の2科目を判定に用いる。</p>	70分

- 1 試験が終わるまで、監督者の指示に従うこと。
- 2 試験開始の指示があるまで、問題冊子を開いてはいけない。
- 3 落丁、乱丁、印刷不鮮明等の箇所がある場合は、監督者に申し出ること。
- 4 試験開始後、最初に、問題冊子の受験番号欄に受験番号、解答用紙2枚両方に受験番号と氏名をそれぞれ、すべて記入すること。記入漏れは無効となる。
- 5 解答用紙記入上の注意
 - ① 解答用紙は、指定された解答欄に解答を記入すること。それ以外の部分には、何も記入しないこと。
 - ② 解答用紙への記入は黒鉛筆またはシャープ・ペンシルで行い、訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消すこと。
 - ③ 解答用紙は、汚したり、破ったりしないこと。
- 6 試験時間中の退室は認めない。
- 7 問題冊子、解答用紙は持ち帰ることができない。

【国語】

【1】以下の文章を読んで、各問に答えなさい。

1 リーガル・リサーチとは？

法律家は、仕事に必要なさまざまな調査をする。かなり乱暴な言い方だが、さしあたりその全体をリーガル・リサーチ (legal research) と呼んでいだろう。ここでは、リーガル・リサーチに関連して、法律家の卵にどのような専門 (α) 技能 の習得が期待されているか (つまり、何ができないか) という観点からその内容を解説する。

法律家に求められるリサーチに関わる技能を (ア) みがく 前提として、法に関わる情報源について一定の知識をもち、情報源を使いやすいように構造化する努力が求められる。

さて、リーガル・リサーチの中心にあるのは、「現行法」の調査である。ここにいう「現行法」は、最新の六法全書に印字収録されている現在有効な条文 (現行条文) のことではない。 (イ) しゅうち の通り、現行条文は、裁判の現場で文言どおり **【 I 】** 適用されているとは限らない。たとえば、現行民法177条には「第三者に対抗することができない」という (あ) 箇所 があるが、裁判所は、この第三者を「すべての第三者」を意味するものとは解釈していない。そのため、事件の処理を考える場合、法律家は、現行条文から出発して、裁判の現場で実際に使われている基準 (もっと正確に言えば、使われる可能性が高い基準) をまず知ろうとする。この基準が「現行法」であり、それを特定するためには専門的な調査が必要である。

このような発想法は、英米法の世界でとくにははっきり観察される。英米法では、裁判の基準となる主要な法源が制定法ではなく、過去の (い) 膨大 な判決群の中に求められたため、自分が引き受けた事件に関係する過去の判決群を探し出し、その中から事件に適用される「判例」 (つまり、「現行法」) を正確に (う) 抽出 する調査技能が歴史的に発達した。これが英米のリーガル・リサーチの歴史的起源である。しかし、現在では、英米法の世界に限らず、リーガル・リサーチは法律家が自分の仕事を適切に処理するために行う多様な専門的調査という広い意味合いで使われている。

2 【 A 】

現行法の調査の場合、ふつうやるべき作業は決まっている。「判例・学説」という表現は、現行条文から出発し、次に事件の事実関係に似た事件に関する判例を探し出し、実際にどのような具体的な基準が使われてきたのかを確認し、それでもなお現行法が何であるのかについて疑問が残る場合には、学説を参照し、それでもだめなら、立法資料、外国法、社会事情を順次調査し、最終的には自分の頭脳・知識・経験を総 (ウ) どういん するという調査の (え) 定石 を **【 II 】** 表現している。

ここで注意する必要があるのは、この手順は、何のためにそういう手順を踏むのか、またなぜその手順でよいのかを説明する理論を (エ) あんもく に前提しているという点である。この隠れた理論は、調査の構想と密接に結びついている。たとえば、なぜ「学説・判例」という順序ではなく、「判例・学説」という順序なのか? と自問してみれば、その答えの中に一定の構想と理論が自然に浮かび上がってくるはずである。定石的手順を含めて、手順とその適切さを説明する理論の両方を意識することは、状況に応じて **【 III 】** 手順を変更できる専門技能の (オ) かくりつ につながるものである。

現行法の調査を離れ、たとえば、医療過誤訴訟との関係で医療に関する調査をする場合には、かならずしも定石はない。そこでは、どんな目的で何を調べればよいのかを構想する能力が強く求められることになる。調査目的・調査対象となる情報の種類・範囲、調査の手順を調査開始以前にきちんと企画する技能は、リーガル・リサーチの基本なのである。

3 【 B 】

情報収集というと、どのような書誌を調べ、どのようなデータベースを利用するかという所にすぐ目が向くが、まず求められるのは長期的に維持できる (お) 人脈 (人間関係) を作る技能の習得である。最新の情報は専門家の頭の中にある。専門家は、雑誌論文やインターネット情報よりも、新しくしかも正確で信頼できる情報を握っている。頼むとすぐにポイントを1時間足らずでわかりやすく説明してくれる友人の専門家 (あるいは専門家を紹介してくれる友人) をもつことは、自分の情報収集能力を高めることなのである。

書誌を調べ、図書・論文その他の情報を集め、データベースを使いこなし、インタビューする技能の訓練は、そのような人脈を作る機会を同時に提供する必要がある。おそらく、それは、法律家の卵が自覚的に自分にあった情報収集の手順を作り上げる訓練の中で行われる。たとえば、判例調査の手順（判例要旨付き六法、判例要旨データベース、判例の全文を収録するデータベース、判例の入手、判例評釈の入手）を法律図書館の専門家や仲間と相談しながら作り上げれば、長期的人間関係の糸口をつかむ機会を手にすることができるだろう。

4 【C】

リーガル・リサーチは、情報を集めれば終わるのではない。あることに関する調査の結果、200程度の論文リストと全文データが集まることは稀ではない。この大量の情報をどのように分類し、保存し、仕事に使うことができるように管理するかという技能は、どうしても必要である。たとえば、「この点に関する議論を半日程度でざっと見て、だいたいの概要をまとめ、未解決の問題点を知らせてほしい」という依頼に応えるには、それなりの技能を習得しなければならない。この技能は、実習訓練の中で初めて一定のレベルに到達するものである。

5 【D】

法律家は、依頼人、法律家、他の分野の専門家など幅広い人間関係で仕事をしている。その中で要約1頁、説明資料数頁程度で情報を提供してほしいという要求は、ふつうである。膨大な量の情報を短時間のうちに読んで処理する一方で、その内容を非常にコンパクトな形に凝縮し、しかもわかりやすい形で相手に提供する技能は、法律家の卵のリーガル・リサーチ技能の重要な部分である。リーガル・リサーチの最終生産物は、ふつう文書であるから、リーガル・リサーチ自体がこの文書作成を最終目的に行われているとあってよい。そのために、どのような手順を踏めばいいのかを学ぶ機会を、求めて得るべきものであろう。

わかりやすさという観点からは、図やスライド、ビデオなどが有効である。法律家は、これまでの活字中心文化から徐々に脱却して、さまざまなメディアを使って情報を加工・統合・表現する技能文化の習得を求められている。

6 リーガル・リサーチの基礎を強化する努力

上に述べた4つの技能は、リーガル・リサーチをする場合の中心的技能である。しかし、これらの技能を長期的に向上させるには、基盤を整備しなければならない。法律家は、一生の仕事であり、その中でリーガル・リサーチは来る日も来る日も行われる作業である。この反復継続的な作業を効率よく行うには、自分の体制を整えることが望ましい。

現在、法律実務でコンピュータを使わないという選択は不可能になっている。コンピュータを自分の仕事にもっとも便利のように作り上げるのは、リーガル・リサーチの基盤整備として非常に重要である。最高裁判所や総務省のデータベースに限らず、インターネット上の情報源は、急速に膨張している。それに対応できるように自分のホームページを設計するようなことも法律家の卵の不可欠の作業になるように思われる。

これまでも法律家は、法に関する情報源について一定の知識をもち、情報源を使いやすいように構造化する努力をしてきた。

7 「リーガル・リサーチ&ライティング」という授業科目

リーガル・リサーチについて、「リーガル・リサーチ&ライティング」という授業科目を提供している法科大学院がある。ライティングが含まれている趣旨は、上に述べた多様なメディアによる情報の表現と発信の訓練を技能訓練に組み込むためである。技能はあくまで最終生産物を作り出すためのものであり、リサーチ報告書を前提としない技能訓練は、リアリティを欠くと考えられる。

- (1) 下線部 (あ) ~ (お) の漢字の読みを、ひらがなで答えなさい。
- (2) 下線部 (ア) ~ (オ) のひらがなの部分を、漢字に直しなさい。
- (3) 下線部 (α) の「技能」をカタカナ語 (英語) に置き換えるとした場合、選択肢①~④の中からもっとも適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。
① アビリティ (ability) ② スキル (skill)
③ テクニック (technique) ④ ナレッジ (knowledge)
- (4) 空欄【Ⅰ】~【Ⅲ】には、それぞれ、選択肢①~③のいずれかの語句が入る。適切に埋めるとすると、どれを入れるべきか。それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
① コンパクトに ② 機械的に ③ 柔軟に
- (5) 空欄【A】~【D】には、各ブロックの小見出しとして、それぞれ、選択肢①~④のいずれかが入る。適切に埋めるとすると、どれが入ることになるか。それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。
① 情報を加工・統合・表現する技能 ② 情報を収集する技能
③ 情報を分析する技能 ④ 調査を構想する技能
- (6) 本文の内容全体について、100字以内で要約しなさい。

【2】以下の各問いに答えなさい。

(1) 次の意味内容をもつ**故事成語**として最も適切なものを選択肢①～⑥の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

(Ⅰ) 人生の幸・不幸は予測しがたい、ということのたとえ。

(Ⅱ) 弟子が、自らの師よりも優れた存在になることのたとえ。

- ① 青は藍より出でて藍より青し ② 雨垂れ石を穿つ ③ 後生畏るべし
④ 塞翁が馬 ⑤ 柔能く剛を制す ⑥ 虎の威を借る狐

(2) 次の意味内容をもつ**四字熟語**として最も適切なものを選択肢①～⑥の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

(Ⅰ) この世のあらゆる事物のこと。

(Ⅱ) ものごとの中のどうでもよいと思われる部分のこと。

- ① 枝葉末節 ② 森羅万象 ③ 徹頭徹尾
④ 二束三文 ⑤ 不偏不党 ⑥ 有名無実

(3) 従来、**誤用**または**俗な用法**として扱われた言葉の用いられ方が、実社会での用いられ方の状況変化等を反映して、その旨、**国語辞典**の改訂の際に、**語釈**の記述内容に**追加・付記**等されることがある。

以下の選択肢**(ア)**と**(イ)**は、一方は「従来から国語辞典にその言葉の**本来的な**意味内容として記述されているもの」、もう一方は「近時において、**新たに**追加等されることになったもの」である。

次の**(Ⅰ)**、**(Ⅱ)**の言葉の意味内容として、「近時において、**新たに**追加等されることになったもの」は、**(ア)**または**(イ)**のいずれであるか。それぞれ、適切なものを選び、記号で答えなさい。

(Ⅰ) 確信犯

(ア) 自分の考え・信念の方が正しく、それを認めない今の社会こそ間違っているのだ、という考え・信念のもと、行動に出る人のこと。

(イ) 許されないことを、許されないことであると承知のうえで、敢えてそれを実行する人のこと。

(Ⅱ) 煮詰まる

(ア) アイデアの構築や議論・検討などが、十分に行われた結果、ゴール直前の最終的な段階にまで到達した状況にあること。

(イ) 自分達ではどうにもできず、うまくいかない、行き詰まった状況にあること。

[国語出題 以上]

【英語】

次の文章を読んで、各問に答えなさい。文章の左にある①から④は段落の番号を表している。
なお、文末に「語句説明」がある。

① The Japanese government has stopped 【 a 】 new health insurance cards as of **Monday** (注 December 2, 2024, 以下同じ) . It recommends the use of Individual Number ("My Number" in Japanese) Cards instead for healthcare access. 【 b 】 ? Can health insurance cards still be used? We have the answers.

② Starting **Monday**, conventional insurance cards will no longer be issued and My Number Cards will serve as the main means of identification for Japan's health insurance system. The Japanese government aims to digitalize healthcare system through this move (ア). If you already have a My Number Card, you can apply to use it as a health insurance card the following three ways (イ): at eligible medical institutions, Seven Bank ATMs or through the governmental online service Mynportal. To be identified at medical institutions, you place your My Number Card on an ID scanner with facial recognition technology.

③ It's still possible to receive medical care using your health insurance card instead of a My Number Card (ウ). Medical institutions accept the following documentation:

- My Number Cards that have been registered as a health insurance card.
- Current health insurance cards, which are valid for up to a year. Cards for the national health insurance program and the healthcare system for people aged 75 or older can be used until they expire. The validity period is noted on the cards.
- Certificates that can be shown at medical institutions will be distributed to those who do not have either of the above. No application is necessary (エ).

④ The government says a major merit of using the My Number Card is that prescription information can be shared 【 c 】 medical institutions and pharmacies with the patient's consent. Accordingly, Japan's health ministry is promoting the introduction of an electronic prescription system. In this system (オ), medicine prescribed to patients is immediately shared on tablets and an alert is displayed if a doctor tries to prescribe the same drug or one that should not be taken with it. This helps prevent incorrect prescriptions and improves safety. In the event of a disaster, electronic prescriptions can be confirmed on a smartphone app as long as there is a mobile phone signal.

※ “Health insurance card integrated with My Number” NHK World-Japan 記事
<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/backstories/3686/> (2024/12/2) より抜粋

「語句説明」

government : 政府 health insurance cards : 健康保険証 conventional : 従来の
the main means of identification : 主な本人確認手段 eligible : 適格な、対象の
certificates : 証明書 be distributed : 配布される
Japan's health ministry : 日本の厚生労働省 prescription information : 処方箋情報
pharmacies : 薬局

[問1] 本文第1段落の空欄【a】として適切なものはどれか。選択肢①～④の中から1つ選びなさい。

- ① to issue ② issue ③ issuing ④ issued

[問2] 本文第1段落の空欄【b】に、次の単語を並び替えて、正しい英文を完成させなさい。
ただし、すべて小文字で表している。

[done / this / has / why / the government] ?

[問3] 本文第2段落の下線部(ア)の和訳として最も適切なものはどれか。選択肢①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 日本政府はこの動きを通じて医療システムの縮小を目指している。
② 日本政府はこの動きを通じて医療システムの細分化を目指している。
③ 日本政府はこの動きを通じて医療システムの開発を目指している。
④ 日本政府はこの動きを通じて医療システムのデジタル化を目指している。

[問4] 次の選択肢①～④のうち、本文第2段落の下線部(イ)の3つの方法にあたらないものを1つ選びなさい。

- ① セブン銀行ATM ② 対象医療機関 ③ 警察署 ④ 政府のオンラインサービス

[問5] 本文第3段落の下線部(ウ)の文を和訳しなさい。

[問6] 本文第3段落の下線部(エ)の意味として最も適切なものを選択肢①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 説明は必要ありません。
② 何の心配もありません。
③ 割引が必要です。
④ 申請は必要ありません。

[問7] 本文第4段落の空欄【c】に入る前置詞として適切なものはどれか。選択肢①～④の中から1つ選びなさい。

- ① on ② at ③ by ④ among

[問8] 本文第4段落の下線部(オ)の「このシステム」は、災害時にどのように活用できると考えるか。本文第4段落に書かれていることを踏まえながら、あなたの考えを日本語で100字以内で述べなさい。

【公共】

【1】以下の各問いに答えなさい。なお、以下の設問では、○1つに1文字が対応する。

(1) 日本国憲法の第92条に「地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、地方自治の本旨に基いて、法律でこれを定める。」と規定されているが、「地方自治の本旨」とは、一般に、地方公共団体の団体自治と〇〇自治の2つを意味するとされている。〇〇にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

(2) 以下の空欄【Ⅰ】～【Ⅳ】にあてはまる数字を、それぞれ、アラビア数字(0, 1, 2, 3, ……)で答えなさい。

なお、日本では、実際の法律の条文では、縦書きのため、漢数字を用いて記載されている。

地方自治法(抄)

第4章 選挙

第18条

日本国民たる年齢満【Ⅰ】年以上の者で引き続き3箇月以上市町村の区域内に住所を有するものは、別に法律の定めるところにより、その属する普通地方公共団体の議会の議員及び長の選挙権を有する。

第19条

- ① 普通地方公共団体の議会の議員の選挙権を有する者で年齢満【Ⅱ】年以上のものは、別に法律の定めるところにより、普通地方公共団体の議会の議員の被選挙権を有する。
- ② 日本国民で年齢満【Ⅲ】年以上のものは、別に法律の定めるところにより、都道府県知事の被選挙権を有する。
- ③ 日本国民で年齢満【Ⅳ】年以上のものは、別に法律の定めるところにより、市町村長の被選挙権を有する。

(3) 2024年、〇〇県議会で斎藤元彦知事の不信任決議が全会一致で可決・採択され、斎藤知事は、県議会の解散ではなく、失職を選択し「出直し選挙」が行われた。〇〇にあてはまる県の名前を漢字で答えなさい。

(4) 地方自治法には、いくつかの直接請求に関する規定が置かれている。そのうち、議会の解散請求、および、議員・首長の解職請求の請求先(署名の提出先)についてはどのように定められているか。請求先(署名の提出先)を漢字で答えなさい。

(5) 次の選択肢①～④の中で、地方公共団体によって運営されるものとして当てはまらないものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 学校 ② 上水道 ③ 病院 ④ 郵便

(6) 租税(税金)は、大きく国税と地方税に分類される。地方税であるものを選択肢①～⑩の中から、全部で3つ選び、記号で答えなさい。

- ① 固定資産税 ② 自動車税 ③ 住民税 ④ 酒税 ⑤ 消費税
⑥ 所得税 ⑦ 相続税 ⑧ 贈与税 ⑨ たばこ税 ⑩ 法人税

(7) 現在、開会中の国会(第217回国会・常会)において2025年度予算の審議が行われている。そのうち、一般会計予算の歳入に占める公債金(新規に国債を発行することによって得られる収入)の割合は約【Ⅰ】%である。また、一般会計予算の歳出に占める社会保障関係費の割合は約【Ⅱ】%である。【Ⅰ】、【Ⅱ】にあてはまる数字として、もっとも適切なものを選択肢①～④の中から、それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 33 ② 25 ③ 20 ④ 17

(8) 2024年、日本では、3種類の新紙幣が発行された。その新紙幣について、(ア) 1万円、(イ) 5千円、(ウ) 千円の肖像はそれぞれ、誰であるか。選択肢①～⑩の中から、正しい人物名をそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 岩倉具視 ② 北里柴三郎 ③ 渋沢栄一 ④ 聖徳太子 ⑤ 津田梅子
⑥ 夏目漱石 ⑦ 新渡戸稲造 ⑧ 野口英世 ⑨ 樋口一葉 ⑩ 福沢諭吉

【2】下記の文章を読み、各問に答えなさい。なお、以下の設問では、○1つに1文字が対応する。

1868年(明治元年)、明治新政府が成立したが、当時の世界情勢なども関係して、日本では極度の中央集権政治が行われることになった。アジア太平洋戦争終結後、1947年(昭和22年)に施行された日本国憲法の中に「地方自治」に関する章が新たに設けられたものの、実際の政治においては、基本的に中央集権のままであった。また、戦後復興に始まり、高度経済成長期を経て、安定成長期に入り、大都市では過密化が、一方で、農山村地域では過疎化が急速に進行し、社会問題化した。

(1) 日本とは異なり、その国における経済の中心都市とはいえない都市・地区に、首都が置かれている国として当てはまらない国を選択肢①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① アメリカ合衆国 ② イギリス ③ オーストラリア ④ カナダ

(2) 1988年(昭和63年)に制定された「多極分散型国土形成促進法」の第1条(目的)では、以下のように規定されている。○に共通してあてはまる語句を漢字で答えなさい。

「この法律は、人口及び行政、経済、文化等に関する機能が過度に○している地域からこれらの機能の分散を図り、地方の振興開発と大都市地域の秩序ある整備を推進し、並びに住宅等の供給と地域間の交流を促進することにより、人口及びこれらの機能が特定の地域に過度に○することなくその全域にわたり適正に配置され、それぞれの地域が有機的に連携しつつその特性を生かして発展している国土の形成を促進し、もって住民が誇りと愛着を持つことのできる豊かで住みよい地域社会の実現に寄与することを目的とする。」

(3) 元号が昭和から平成に変わり、中央集権型行政の弊害がいつそう強く指摘されるようになっていたことから、国会では、1995年(平成7年)に「地方○推進法」が、さらに、2006年(平成18年)に「地方○改革推進法」が制定された。○に共通してあてはまる語句を漢字で答えなさい。

(4) 東京、大阪、横浜などの大都市における過密化の進行によって、交通機関の過度な混雑、緑地や公園等の不足、交通渋滞や大気汚染、地価・家賃・物価の上昇、○の多さと処理問題、災害時の被害増大、労働需要が多いことによる人手不足などの社会問題の深刻化が指摘されている。○にあてはまる語句をひらがな(または、カタカナ)で答えなさい。

(5) いわゆる「○○○納税」制度とは、2008年(平成20年)から開始された、地方と大都市の格差是正、人口減少地域における税収減少対策などを目的とした寄附金税制のことである。○○○にあてはまる語句をひらがなで答えなさい。

(6) 2024年4月、民間の有識者グループ「人口戦略会議」は日本全体の4割にあたる744の地方公共団体で、2020年の人口を基準として2050年までに20歳～39歳の若年女性人口の減少率が50%を超え、「最終的には○する可能性がある」との分析を公表した。○にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

【3】1991年、ソ連の崩壊により、いわゆる「冷たい戦争」は終結した。その後、中国の経済大国化が急速に進んだことから、アメリカを中心とする国際経済秩序は大きく変化することになった。それに関連して、以下の各問いに答えなさい。

(1) 「冷たい戦争」終結後、中国を筆頭に、いくつかの国が、大きく経済的な成長を遂げるようになった。そのうちの4か国を、当初、特にBRICsと呼んでいた。2011年、それら4か国に加えて、もう1か国が参加し、計5か国による首脳会議が開催されることになった。そうしたことにより、以降、BRICSという呼称が定着することになった。2011年から新たに首脳会議に参加した国として正しいものは次のうちどれか。選択肢①～④の中から、1つ選び、記号で答えなさい。

- ① スウェーデン ② スペイン ③ 南アフリカ ④ 南スーダン

(2) 日本政府は、この20年あまり、国際的な経済情勢を踏まえたうえで、TPP（環太平洋パートナーシップ）協定を積極的に推進・拡張する役割を担っている。選択肢①～④の中で、現在、TPPに参加していない国として正しいものはどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ① アメリカ合衆国 ② オーストラリア ③ カナダ ④ シンガポール

(3) 2018年、アメリカのトランプ大統領（当時）は、カナダ、メキシコとそれぞれ交渉を行い、その結果、3か国の間でUSMCAという協定が締結されることになった。それは、3か国の間で、1994年以降続けられてきた「北米自由貿易協定」をアメリカ主導で見直すものであった。この「北米自由貿易協定」の通称・略称として正しいものは次のうちどれか。選択肢①～④の中から、1つ選び、記号で答えなさい。

- ① GATT ② NAFTA ③ OECD ④ WTO

(4) 習近平を国家主席とする中国政府は、現在、中国を中心とする国際経済圏の構築を進めている。この構想の名称として正しいものは次のうちどれか。選択肢①～④の中から、1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 21世紀版シルクロード ② ラストベルト
③ 一帯一路 ④ 鉄のカーテン

(5) 1993年11月1日、マーストリヒト条約の発効により、ヨーロッパ連合（EU）が12の加盟国でスタートした。以後、加盟国を増やし28か国になったところで、2020年、その国の議会における反EU勢力の躍進などにより、EUから脱退する国が初めて出るようになった。その国として正しいものは次のうちどれか。選択肢①～④の中から、1つ選び、記号で答えなさい。

- ① イギリス ② イタリア ③ ドイツ ④ フランス

[公共出題 以上]

【小論文】

【問】以下の新聞記事・配信記事3つの内容を踏まえたうえで、現在、日本政府が進める「観光立国」政策の抱える課題に対して、あなたの考えを400字以内で自由に述べなさい。

1 日刊工業新聞 2025年1月9日

<著作権の関係上、略>

2 山形新聞 2024年12月24日

<著作権の関係上、略>

3 時事通信 2025年1月16日(配信)

<著作権の関係上、略>

[小論文出題 以上]